

「ミュージアの日」イベントで周知活動を行いました。

塩と暮らしを結ぶ運動では、2019年7月1日（月）に、神奈川県川崎市のミュージア川崎シンフォニーホールで開催されたイベント「ミュージアの日」において、周知活動を行いました。その様子をご紹介します。

今年で15周年を迎えるミュージア川崎シンフォニーホールは、開館記念日である7月1日を「ミュージアの日」として、毎年お祭りイベントを開催しており、今年も、各種の催しが行われました。

川崎市で事業を展開している日本精塩株式会社（日本特殊製法塩協会会員）は、「ミュージアの日」イベントの中の「川崎いいまちマルシェ」に出展し、地域の皆様への周知を目的とした商品販売と併せて、塩と暮らしを結ぶ運動の周知活動、熱中症対策の啓発活動を行いました。

同社のブースでは、ポスターを掲示して、熱中症への注意を呼びかけるとともに、熱中症予防に役立つ塩飴やウチワを配布したほか、運動の冊子『塩と暮らしのあれこれBOOK』も配布し、熱中症対策だけではなく塩と暮らしの関わりについてお伝えしました。またお子様には、塩イルカの風船もお配りしました。

「川崎いいまちマルシェ」では、同社のほか、JAセレサ川崎の直売所など、川崎の名産品の9ブースが並びました。またイベント全体では、東京交響楽団による「オーケストラ入門」や、JRの協力による「トレインフェスタ」、川崎フロンターレによる「キックターゲット」なども行われ、大変にぎわいました。

そんな中、日本精塩株式会社のブースでは、約50名のお子様にも、風船や塩飴をお渡しし、大変好評をいただきました。またお子様の保護者など約50名の方に、冊子やウチワをお渡しすることができました。

